

[うえる]

Vol.12

2024
Spring

Take Free

特集

「サステイナブルな働き方」



社会医療法人ましき会

益城病院

MASHIKI HOSPITAL

Contents

巻頭言	1
【特集】「サステナブルな働き方」	2
受賞者の紹介	6
オータムフェス	7
アンサング・ヒーロー／医療情報センター	8
こころ相談室	10
わたしのイチ推し！	11
けんこうUPレシピ／犬飼記念美術館	12
スタッフ紹介（風のテラス）	13
院内学会とシンポジウム	14
研修と院内勉強会	16
職員往来／診療実績／実習生受け入れ実績／病院等行事	17

基本理念

Our Philosophy

社会医療法人ましき会は、患者さんとそのご家族に対し、最善のプロフェッショナルサービスを提供し、精神科医療の責任ある担い手として、地域の医療・福祉・文化に貢献します。

患者さんの権利と義務

Patient Rights And Obligations

1. すべての個人情報を守られます。
2. 医療上の情報について十分な説明を受けることができます。
3. 医療行為について自ら選択することができます。
4. ご自身の負担で、他の医療機関の医師の意見を聞くことができます（セカンドオピニオン）。
5. いかなる場合も人格的に尊重され、平等な医療を受けることができます。
6. 適切な医療のために必要な情報を伝え、主体的に治療に参加してください。
7. 病状の改善及び共同生活を維持するため、規則や指示を守ってください。
8. 医療にかかった費用を支払う義務があります。

職員の倫理

Ethics Of Staff

1. 益城病院の基本理念・行動指針を自己の行動規範とします。
2. 医の倫理を踏まえ、患者さんの権利を尊重し、希望のもてる医療を行います。
3. 仕事に誇りをもち、全ての患者さんに公平・平等な医療を行います。
4. 質の高い医療を提供するため、自己啓発に努め、自身の健康増進に努めます。
5. 温和で謙虚、協調と礼節を重んじ、患者さんや地域からの信頼を得よう努めます。

5つの誓い

Five Oath

1. 私達は、精神科医療を通じて社会貢献に努め、社会医療法人としての公益的使命を果たします。
2. 私達は、こころを病む人々に対し、尊厳を損なうことなく、心身の健康づくりに努めます。
3. 私達は、こころを病む人々が、地域で安心して暮らせる環境づくりに努めます。
4. 私達は、お互いの立場を尊重し、働きがいのある職場づくりに努めます。
5. 私達は、医療の質を高めるため、日々、自己研鑽に努めます。

サステイナブルな働き方



副院長
松永 哲夫

「サステイナブルな働き方」という、無茶振りの難題をいただきました。なぜ難題かという、サステイン(sustain)という言葉自体は「持続的に支持する、支える、(人)を養う、元気づける」等々という意味ですが、そのような「働き方」となると意味が曖昧です。やはり、この言葉が今の世に流布されたきっかけは、SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) でしょうから、そこに触れたいと思います。

御承知のように国連は2000年に、途上国の開発問題(飢餓・貧困・疫病・ジェンダーなど)に対してMDGs(Millennium DGs)という8項目の目標を立てました。そして2015年、それまでの問題に加えて地球環境問題対策の9項目を加えて、合計17項目の目標から成るSDGsを作りました。換言すれば、「開発を進めていく時には貧困や飢餓や人権問題への配慮は無論だけれども、加えて環境破壊に

つながるような開発は抑えようね(でないと地球全体が滅びるよ)」と宣言して、CO2削減やクリーンエネルギーへの変更などが世界的に推奨され、その文脈で「サステイナブル」という言葉が広く使われています。欧米は電気自動車(EV)への切り替えを早々に法制化しましたが、少し風向きが変わってきているようです。また某大国はEVを大量に作ったけど売れずにだぶついているようですし、太陽光発電を日本国内でも補助金を使って広めていますが、広大な太陽光パネルの設置場所がかえって環境を破壊している例も少なからず見られるようです。そのように、SDGsは大国や大企業にいいように使われているような気がして、「サステイナブルはなかなか難しいぞ」という気がします。

話が拡散してきましたが、今回の題目の「サステイナブルな働き方」に戻れば、結局、「これから社会情勢が厳しくなっていくけれども、私たちは精神障害者の人権を守りながら健康と福祉の支援を続け、自身も、より幸せな生活が送れるように仕事を続けていく」ということになると思われます。(おやおや、これは「益城5つの誓い」に戻った?)



サステイナブルな働き方

益城病院ではこの度、10年から40年の勤続を達成した25名のスタッフを表彰しました。この表彰は、彼ら自身の努力はもちろん、創業当時から、「働きやすい職場」を目指してきた益城病院との「二人三脚」によってなした成果と言えるでしょう。

松永副院長の巻頭言にもありますように、患者や利用者の健康福祉向上に取り組むことはもちろんですが、「働く本人の幸せな生活」こそが、長期間働くための基本であろうと思われます。

永年勤続者に執筆していただいた文章は、まさにこのことを表しているのではないのでしょうか。

益城病院広報委員会



受賞した皆さんと

永年勤続40年

施設管理係 田尻 俊二



永年勤続表彰者代表挨拶（表彰式当日の挨拶より）

この度は、私ども永年勤続者を表彰してくださいまして、本当にありがとうございました。表彰者を代表しまして、厚く御礼申し上げます。

私個人の事で申しますと、昭和57年4月に27歳で入職し、病院のため、また家族のために、ただ黙々と42年間仕事をしてきたに過ぎません。この表彰を家に持ち帰り、家族と共に喜びを分かち合い、美味しい酒でも飲もうかと思えます。

これからも健康に留意し、引き続き仕事に励んでまいります。皆様、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



挨拶を述べる田尻氏



病棟勤務時代の田尻氏(昭和60年頃)

永年勤続30年

養護老人ホーム「花へんろ」施設長 園田 烈



あれから30年

医療・福祉のことを何も知らず、やる気だけ膨らんでいた私を拾っていただいたあの日。あれから30年。知識、経験は思ったほど膨らまず、膨らんだのは体だけ・・・30年表彰をいただき、誠にありがとうございます。大小の失敗をしてきましたが、会長、理事長、先輩方、ご同輩の皆様を支えられ、ここまで来ることができました。

この30年の間に新施設が複数建ち、医療機能評価、障害福祉サービス、介護保険、熊本地震、新型コロナウイルスの流行と、色々ありました。そのたびに、当法人の特徴？である、いざという時の皆さんの団結力・行動力で乗り切ってきたと思います(エンジンのかかりは遅いかも)。大変でありながらも、皆さんと一緒になんだかんだ言いながら楽しく乗り切ってきたと思います。

また、業務時間外のスポーツや飲み会等々あれこれ言いながら楽しくできたことも活力となりました。これから30年とはいきませんが、今後も職員の方々や患者さんに多くの元気をもらいながら、また、元気をお裾分けしながら頑張っていきたいと思えます。

永年勤続20年



私の21年

C(精神療養)病棟 看護師 坂井 誠

気が付けば私も益城病院に勤めて21年。なぜ21年も継続できたかを考えてみると、アットホームな雰囲気、それが好きで辞めずに21年働いています。強みとしてスタッフが優しく、子育てしやすい環境があります。また、研修制度がしっかりしているので、新入職員が育つ良い環境で、長く働くにはもってこいの働きやすい職場です。

ただ、熊本地震により病院が移転したのと同時にコロナが流行り出したことで、職員の離職も増えて、雰囲気も一変。他部署の人との関わりが激減してしまいました。以前は、懇親会なども多く、職員旅行やレクリエーションなどで他部署のスタッフとも関わることが多かったのですが、コロナ後はそのようなことができて、

少し寂しい気持ちでいました。

今年度から病院行事の「職員誕生会」が再開し、参加して、このような福利厚生があるのはいいなと改めて感じています。楽しい時間を共有できることは、やりがいにもつながります。これからも伝統ある益城イズムを承継し、いつまでも働きやすい職場であってほしいと思います。



継続すること

公認心理師 本田由美子

早いもので入職から20年という月日が経ちました。医療の知識がない状態で働き始め、これまで先輩方の支えによって必要な資格を取得し、多くの患者さんから色々な学びを得て今があります。

仕事に役立てられるようにと、福利厚生での茶道や着付けのクラブ活動に取り組み始めたのも入職間もない頃でした。それがきっかけで地域活動にも興味を持ち、現在は神楽保存会での町づくり活動に参加しています。犬飼美術館からの声掛けで、1月には、今年で2度目となる神楽鑑賞会も開催しました。

幾度となく起こるライフイベントで何度も働き方について考えましたが、今は継続して働くことが目標です。何事も挑戦し継続できる工夫をし、仕事と家庭、趣味活動などの両立をめざしています。

永年勤続10年

やりがいのある仕事を任せてもらえること

指定相談支援事業所「アントニオ」 精神保健福祉士 金子 真弓

アントニオは益城病院だけでなく他の精神科の利用者も受け入れています。コスモやグループホームの入居者、家族との同居者、単独生活者など利用者の望む生活ができるよう寄り沿う支援をしています。

環境や状況が変化することで不安が生じ、症状も生活自体も変化します。アントニオは相談(SOS)できる場所として、地域や行政等とつなぐ役目を担っています。利用者が少しでも安心して生活できることが増えていくと嬉しさが増します。今後も、このように周りのスタッフに助けられて仕事が続けられることを願っています。

今年4月から地域活動支援センターが再開となります。デイケアや就労参加が難しい利用者にとって居場所の1つとなればと思っています。



自分に合った職場とは

地域生活医療支援部 外来 看護師 町田 洋子

先日、靴の話題で盛り上がりました。合わない靴を履くと靴擦れができて痛みが生じることもあり、自分の足に合った靴を選ぶことが大切です。若いときには見た目を選んでいただけ、今は断然機能重視に変わりました。生活の中で仕事の占める割合は大きく、まさに靴選びと共通するところがあります。

益城病院は、一人ひとりが職種の垣根を越えて持ち味を活かし、その結束力の強いところが良さに繋がっています。また、様々な相談にも快く応じてもらい、早10年が過ぎました。私は外来勤務ですが、仕事に対して前向きで誠実に取り組むスタッフの姿勢に刺激を受けています。子育てや介護も一段落したので、体を動かすことやスポーツ観戦を再開しようかと考えています。これからもご縁を大事にしながら、楽しい事を見つけて、無理をせずに日々歩んでいきます。



永年勤続10年

益城病院だから両立できた

A(精神科救急)病棟 看護師 米田 英恵



今回、入職10年を振り返り、看護師と母親業を両立できたのも、益城病院の働きやすい環境があったからだと再確認しました。周りのスタッフに支えられ「お互い様だから気にしなくていい」と何度も温かい言葉を頂き、困難を乗り越え勤続10年を迎えることができました。

また、あんふぁんを利用することで、子育て中の私でも安心して夜勤ができる環境があったと改めて感謝しています。小学3年生の長女が「また、あんふぁんに泊まりに行きたい」と話すことがあります。あんふぁんの先生方からの愛情をたくさん受けてここまで成長したことに感謝しています。

今後も、益城病院の看護師として母親として、両立し継続できるよう、自身の健康に気をつけながら頑張りたいです。

困難な時期を救ってくれた周りとの会話

A(精神科救急)病棟 看護助手 山本 三矢



月日の経つのがとても速いと思った10年でした。こう感じるのは、この間に熊本地震による災害、コロナ感染拡大など、経験の無いことが起きたからだと思います。本当に、猛スピードで過ぎて行った毎日でした。

震災・コロナ禍の時は、心身ともにとても疲弊していました。そんな中でも、仕事が継続できる職場があることの喜びを感じました。皆が辛い思いを抱えながらも、上司・同僚と会話をする中で心身共に少しずつ回復し、困難を乗り越えられたと思います。

どんなに大変な時でも、「益城病院の全員で乗り越える」という姿は、とても素晴らしいと思います。これからも、患者さんと地域との関わりを大切に、医療に従事していきたいと思っています。

私の看護論

A(精神科救急)病棟 看護師 渡辺 寛之



精神科看護は、勤務年数が長いという時間的経験だけでなく患者との関わりの中での看護体験の積み重ねが重要だと考えています。私たち看護師は、患者との関わりを通して見たり聞いたりした事のなかで何かを感じたり考えたりしながら、ひとつの看護行為を選んで実践しています。その時の看護行為をなんとなく漠然とした気持ちでやってしまうのではなく、患者がどの様な状況に置かれているのかを確認します。そして、なぜその様な看護行為を実践するのか、常に意識化することが大切だと思います。意識化された看護実践こそが、私の考える看護体験であり、行った看護行為を自らが振り返る機会となり、専門的知識や技術の向上に役立つものと考えます。

多くの永年勤続者から、こういう声が聞かれました!

温かい先輩や職場の仲間に支えられたから続けられました!

子供をあんふぁんに預けられたから!

上司や先輩からの定期的なサポートがあったから!

仕事とプライベートのバランスを保ちやすい職場だったから続けられました!

夏休みに「ましき塾」があったから!

受賞者の 紹介

Congratulations!

第12回日本精神科医学会学術大会 学会長賞受賞

2023年10月12日、13日に熊本城ホールで開催された「第12回日本精神科医学会学術大会」の一般演題発表において、精神保健福祉士の伊豆丸聖乃さんが学会長賞を受賞いたしました。地域生活支援の演題で、就労継続支援B型事業所「あひるのしっぽ」での一例について、作業内容変更(洗濯作業)に伴う利用者さんの戸惑いに対し工夫した経過と結果、今後の展望を発表しました。多くの発表者の中から最優秀賞を受けたのは、とても喜ばしい事で、院内でも年頭式に際し「優秀研究取り組み賞」として表彰されました。

就労継続支援B型事業所「ましきの風」は、先日落成したばかりの「ましき童夢」に移転しました。新しい作業場でも、さらに充実した就労訓練ができるように力を合わせていきたいと思えます。



第59回熊本県精神保健福祉大会 精神科病院協同組合理事長表彰



2024年1月19日、第59回熊本県精神保健福祉大会において、ましきの風の利用者Fさんが精神科病院協同組合理事長表彰を受けました。この表彰の対象者は、県内の社会復帰施設に勤務する精神障がい者であって、その

勤務ぶりや生活態度が他の精神障がい者の模範となる方です。従事年数は原則として同一事業所に5年以上となっており、Fさんは、パンの製造や販売などの業務に従事し、2015年9月に就労継続支援B型事業所「ましきの風」に契約職員として採用されました。パン工場の職業指導員としても8年の実績があり、仕事熱心で出勤率は100%です。また、真面目で温厚な性格で、メンバーに優しい言葉かけができるなど模範的な存在となっています。

表彰当日は、多くの参加者の中で堂々と表彰を受ける姿が印象的でした。これからも、ましきの風の職員として頑張る業務に励まれることを願っています。



2023年10月28日(土)に、4年ぶりの秋祭り(オータムフェス)が開催されました。当日は晴天に恵まれ、地域の子もたちや家族連れなど、およそ500名の参加がありました。お祭りステージのオープニングでは、「保育園ころ」の園児による“ソーラン節”(踊り)が披露され、その後も様々な催しが行われて会場は大盛り上がり。多数のキッチンカーなどの出店もあり、久しぶりの会場には賑やかな声が響いていました。



保育園ころの園児による
力強いソーラン節



九州ハワイアン協会宇土支部
の皆さんによるフラダンス



熊本を拠点に活動されている3人
組アカペラグループくまおとさん
による素敵なハーモニー



フランス・ジャパン・エキスポ
2023にも出演された096K(オク
ロック)熊本歌劇団の皆さん



津軽三味線演奏家の
高崎裕さんによる華麗な演奏



一番人気?!の抽選会にはましまる
もお手伝いにつけました



縁の下の力持ち アンサンブル・ヒーロー

医療情報センター

医療情報センターは、当院及び関連施設の様々な医療情報システムの企画、導入、開発、運用、保守、セキュリティ対策、職員教育など、広範な業務を担っています。

MISSION

01. 診療を中断させないために！

電子カルテ、調剤システム、レセプトコンピュータ、検査システムなどが密接に連携して運用されています。また、診療の中断が許されない医療現場において、障害の発生を最小限に抑えるために、停電対策や冗長性の確保などの緊急対応策を構築しています。

02. 目指せ、業務の省力化！

IT技術の活用による業務プロセスの最適化に取り組んでいます。各部署のニーズに合わせたカスタムソリューションの提供や、データ分析を通じた意思決定の支援など、業務すべての相談室となっています。

03. 新しい技術や知識を敏速にキャッチ！

技術の進歩が著しい分野であるため、常に最新の技術トレンドやセキュリティ対策にアンテナを張り、安全かつ効率的な医療サービスの提供を支えています。

UNsung HERO



新入職員へのガイダンス

ヒロマツ ナオミ
主任 **廣松 直美**
診療情報管理士

電子カルテの運用管理に携わっています。関係部署間の調整を行いながらベンダーとも連絡を取り合い、なるべく使い易く、情報を共有し易く、医療安全に配慮した電子カルテにするべく奮闘しています。他にも色々なシステム導入に関わっています。

職員からの感謝の言葉が励み！
新入職員とシステム研修で会うのも楽しみです



アップデートの手配、マスタ更新、運用検討、トラブル対応、他システムとの連携調整、新入職員への操作指導など、業務は多岐にわたる

キヨノ ケンジロウ

清野 健二郎

電子カルテとの連携システムの構築、各種業務支援ツール等の開発、サーバー管理等をメインに担当しています。システム開発においては、ただ要件を満たすだけでなく、自分が使う側として使いたいと思えるシステム開発を行うよう心がけています。

職員から「便利になった」「仕事が早くなった」と言ってもらえるよう頑張っています！



サーバー管理では、待機サーバーの構築やデータのバックアップ等を行うことで、万一のトラブル時にも迅速な復旧が行えるよう努めている

業者との打ち合わせ

患者さんが過ごしやすい療養環境を作ることを目指して日々の業務に努めています！



院内の基幹システムは24時間365日ノンストップで稼働しているため、トラブル発生で昼夜問わず対応しなければならない大変さもあるが、やりがいも大きい

フクシマ ユウキ

福島 佑樹

新規システムの企画・導入、既存システム・ネットワークの運用保守、院内の業務ツールの開発、PC・スマートフォン・プリンタ等のIT端末の資産管理、ヘルプデスク等を担当し、ITシステムの導入や機能拡張によって、少しでも職員の業務負担を減らし、働きやすい職場環境を作るのが私の仕事です。

PCソフトの操作説明

ITの世界は進化が早いので普段から新しい知識を取り入れ、自らもアップデートさせたい！

オオガキ ケンタロウ

大垣 健太郎

ソフトウェアの設定や操作説明、トラブル対応などのサポートから、パソコン修理といった機器のメンテナンスを行っています。病棟や外来で手書きしていた検体ラベルを専用のプリンターで出力する設定を行う事があり、日々の業務で使用されていて印象に残っています。



部署によって実現したい事やトラブルの内容も変化するので、幅広い知識や判断力を身に付けることが求められる

心の病気や不調など私たちにとって身近な問題について、
精神科の専門医がアドバイスします！



こころ 相談室

第12回 「統合失調症について」

統合失調症は、考えがまとまりにくくなり、幻覚や妄想などさまざまな症状が現れる精神疾患です。約100人に1人と意外に多くの方が発病するといわれる統合失調症について、専門医に話を聞きました。

Q1 統合失調症には、 どんな症状や特徴がありますか？

陽性症状（幻覚、妄想、思考障害）、陰性症状（感情の平板化、意欲の低下、思考の貧困化）がみられます。幻覚では幻聴が多く、自分の悪口を言っている声、命令する声などが聞こえたりします。妄想では被害妄想が多く、監視されている、狙われていると感じることがあります。自分には特別な力がある等、誇大妄想



院長 渡邊 信夫

もみられることがあります。これらの症状が目立たなくなると、喜怒哀楽の感情が乏しくなり、無気力となり、引きこもりがちとなることもあります。

Q2 発病しやすい年齢は？また、 発病の原因はあるのでしょうか？

思春期から30歳代に発病することが多い病気ですが、40歳を過ぎて発病することもあります。原因については今のところ分かっていません。統合失調になりやすい要素を持った人に、仕事、生活の変化、人間関係などのストレスが加わり、発病することが多いようです。

Q3 周囲の人にもわかる 統合失調症のサインはありますか？

食欲が低下したり、睡眠がとれず生活リズムが乱れたり、口数が少なく自閉的になったり、あるいは、周囲に猜疑的となり、些細なことで怒ったりするなどのサインがみられることがあります。



Q4 有効な治療法はありますか？

有効な治療としては、環境の調整や休養、薬物療法、精神療法（心理、社会療法）があります。副作用が少なく有効な薬物も開発されていますので、まずは病院に相談してください。

Q5 患者に対して家族は どのように支援すればいいですか？

可能であれば、患者さん本人の言っていることを否定せず十分に話を聞くことが大事です。対立したり本人を批判したりすることは避け、本人のペースで治療を受けられるよう協力してください。長期間の治療が必要な病気なので、家族も焦らず支援することが必要です。

当院スタッフがはまっているものなどを紹介するコーナーです。
スタッフの意外性を新発見できるかも!?

わたしのイチ推し!

紹介します。

KNITTING

母の編み物

栄養課 宮崎 佳子



何と言っても母の編み物が一番です。テレビで可愛いベストを着ている人がいたので「こんなの編んでみたら?」と冗談で言ったら、一週間後には、リクエスト通りのベストが仕上がっていました。要望としてはもっと落ち着いた色の方がいいと思いました。でも母が私に似合うと思って編んでくれた作品なので、その愛情に感謝しつつ春のおしゃれを楽しみたいと思います。



Handmade



HABIT

階段の上り下り

医局 大潮 一太



イチ推しというより私の日頃の習慣のご紹介になりますが、6階建ての病院内の移動に階段を使うようにしています。

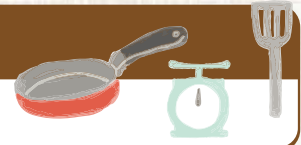
決意して始めたわけではなく、「エレベーターを待つより階段を使った方が早いかも」と思ったのがきっかけでした。自然と階段を使うことが増え、気づいたらそれが習慣化されていた感じです。

最近では、一気に6階まで上っても以前より息切れしなくなった気がします。細切れの運動でも、積み重ねれば体は変わるもんだなと実感しています。





簡単に作れて美味しく、お年寄りや病気の方も食べやすく
栄養バランスのいいメニューを管理栄養士がご紹介します！



けんこうup↑レシピ

水切りヨーグルトで作るイチゴのビスケットケーキ



オーブンを使わず、簡単に誰でも作れるケーキをご紹介します。

水切りヨーグルトを使うので、
高たんぱくでヘルシーに仕上がります。

POINT

ギリシャヨーグルトがない場合、
市販のヨーグルトでも使用可。
ザルにキッチンペーパーを敷き、ヨーグルトを入れ、
そのまま冷蔵庫で一晩寝かせ水気を切る。

<材料(2人分)>

水切りヨーグルト(※ギリシャヨーグルトと記載されている物)
…………… 1パック(120g)
好きなビスケット、またはクッキー …………… 8~10枚
イチゴジャム …………… 小さじ1(お好みで)
イチゴ …………… 2、3個

<作り方>

- ①水切りヨーグルトにイチゴジャムを混ぜる。
- ②ビスケットの上にスプーンで①を塗り、またビスケットを重ねる。
- ③この作業を繰り返し、ビスケットを5段にする。(高さはお好みで)
- ④ケーキのクリームを塗るように周りに①を薄く塗り、冷蔵庫で3時間ほど寝かせる。
- ⑤冷蔵庫から取り出し、上にイチゴを飾る。

おすすめ

ビスケットがヨーグルトの水分で
しっとりとしたスポンジ代わりになります。
お好みのフルーツやジャムでデコレーションを楽しんで下さい

こどもが描く光琳かるたの世界展



江戸時代の「光琳歌留多」の中から、小中学生が札を手本に天然顔料と金泥を使って制作した「こども日本画研究会」の作品。かな文字も絵として捉えて臨書し、年齢に応じた味のある作品に仕上げました。多くのことを学んだ子どもたちがご家族とともに観覧して和やかな会場でした。

犬飼コレクション 絵画・陶磁器展

秀島由紀夫【銅版画2点】	井上萬二【白磁爪形壺】
吉井淳二【油彩花籠】	藤原雄【備前篇壺2点】
原精一【油彩黒い扇子】	中島宏【天青磁壺】
中西良【油彩中庭】	前田昭博【白磁鉢】
友田智恵【油彩少女2点】	三輪栄造【萩六面花入】
ロバートクシュナー【油彩ひまわり】	仁田三郎【丹波面取壺】



犬飼記念美術館
こども心のミュージアム
文化事業部 理事 田中 洋子

近大洋画家の巨匠 坂本繁二郎木版画展

坂本繁二郎は久留米藩士の子として生まれ、同郷の青木茂と共に森三好の画塾で洋画の道を進みました。フランスで学んだ後、福岡を永住の地として活躍し、文化勲章も受けた近代洋画の巨匠。今回は「加藤版画研究所」の版画から「筑紫五景」「阿蘇五景」を展示いたしました。

「風のテラス」の指導員 シェフ 宮木 雅巳さん

Chef

当院1階には、就労継続支援B型事業所が運営する軽食・喫茶「風のテラス」があります。昨年5月から新たなシェフ宮木雅巳さんを迎えてメニューも一新、美味しいと好評です！そんな宮木さんの素顔をご紹介します。

風のテラス
日替わりメニュー
豚おろし丼



Q 就労継続支援B型事業所のメンバーと働いてみて感じたことは？

指導員として働くのは初めてで手探りですが、メンバーの皆さんが懸命に働く姿に感動し、私も皆さんの思いに応えようと頑張っています。

Q これから風のテラスをどんな風にしたいですか？

私の座右の銘は、「当願衆生(とうがんしゅじょう)」で、大衆とともに生きるということ。一人でも多くのお客様に喜んでまた来ていただけるよう、メンバーさんと共に成長していけたらと思います。



Cooking



PROFILE

宮木 雅巳 シェフ

1969年2月4日生まれ、中之島日本調理師専門学校卒業後、有名料理番組の坂井宏行、陳健一、周富徳など多彩な講師陣に師事。その中の一人、フィリップ・ピゴの経営するフランス料理店に入社、料理の総合的な技術を学ぶ。帰郷後、委託給食会社のインストラクターやバイキングレストランの料理長などを経て、益城病院へ。得意料理は、野菜を使った料理やフレンチの魚料理。



入職以前に宮木シェフが手がけたフランス料理

第13回 院内学会

「患者さんの地域移行、 地域生活を考える」 ～どうする益城病院～

日時 令和5年12月2日（土）9:45～15:30

場所 研修センターA・B

スケジュール

<p>am</p> <p>9:30 受付</p> <p>9:45 オリエンテーション</p> <p>9:55 開会（渡邊院長）</p> <p>10:00 第1席 第2席 第3席 第4席</p> <p>11:20 講評 （九州看護福祉大学 上田智之准教授）</p> <p>休憩（昼食）</p>	<p>pm</p> <p>14:00 シンポジウム 質疑応答 総括（渡邊院長）</p> <p>15:30 閉会 （梅田看護部長）</p>
--	---

取組発表

- ◆ 第1席
認知症治療病棟における身体固定減少への取り組み
～注目してみよう認知症治療病棟！身体固定の現状と課題～
（D病棟：佐藤 悠生）
- ◆ 第2席
市町村の壁を越えた移行支援におけるソーシャルワーカーの役割
～養護老人ホーム入所に向けた課題解決に向けて～
（宿泊型自立支援事業所コスモ：吉澤 友希）
- ◆ 第3席
精神科訪問看護利用者満足度に関する研究
～訪問看護スタッフが認識する利用者満足との比較～
（訪問看護ステーション：口石 さつき）
- ◆ 第4席
益城イズムで地域交流！！
～益城病院と地域とのコミュニケーション～
（経営戦略室：犬飼 翠）

シンポジウム

患者さんの地域移行、地域生活を考える
座長（地域生活支援部：金子 元子）

シンポジスト① 精神科デイケア	本村 一生
シンポジスト② 訪問看護ステーション	鈴木 浩
シンポジスト③ 宿泊型自立訓練事業所コスモ	小嶺 連央
シンポジスト④ 共同生活援助事業所「ハウス」	高野 聖子
シンポジスト⑤ 相談支援事業所アントニオ	金子 真弓
シンポジスト⑥ 就労継続支援B型事業所ましきの風	佐々木哲郎

※質疑応答(15分間)

研修センターをメイン会場とし、会場参加が困難なスタッフに対し今年もZoom配信を行いました。

「行動制限減少への取り組み」「ソーシャルワーカーの役割」「訪問看護利用者の満足調査に関する研究」「益城病院の歴史、広報活動について」「様々な部署、職種の日々の課題や取り組み」など多岐にわたって研究発表及び活動報告を行いました。

九州看護福祉大学看護福祉部看護学科上田智之准教授による講演が行われ、また、他の講師の参加もあって、症例研修の取り組みなどについての幅広いアドバイスが得られました。

学会の開催ごとに違った角度からの提案を聞くことができ、他部署、他職種の様々な取り組みを知ることで情報共有や意見交換が活発になり、スタッフのレベルアップにつながった院内学会でした。

看護部長 梅田 亮一



シンポジウム

～地域生活支援部の 取り組みを発信～

地域生活支援部
副部長兼統括看護部長
金子元子

2023年10月、地域生活支援施設「ましき童夢」の完成に加え、地域移行機能強化病棟の開始、そして在宅診療部、在宅支援部に分かれていた組織を統合し医療・福祉、介護で構成される「地域生活支援部」が発足しました。利用者の多様なニーズに対して、医療、介護、福祉の各専門職が多角的な視点で関わることが可能となります。発足したばかりでシンポジウムの依頼があり戸惑いましたが、今の自分達を知っていただくチャンスだと捉え、何を伝えたいのかを考えることから始めました。

シンポジストは6名で、シンポジウムという形式にとらわれず、地域生活支援部の役割を伝え、これから「やってみたいこと」「こんなことが



できればいいな」という想いも含めて発信することにしました。シンポジストになるのは誰もが初めての経験で、緊張した面持ちでしたが、それぞれが自分の言葉で自信を持って発信しました。

これを一つのきっかけに、私たちは、疾患の有無に関わらず、利用者の希望に寄り添い、その人らしい人生を生きていくプロセスを色々な視点で見つめ支援をし続けること、また、利用者が継続していくためのセルフマネジメント能力の獲得をサポートすること、全員がこのような役割意識を再確認し、医療、福祉、介護が協働して実践に活かしていきたいと決意したシンポジウムでした。



研 修 と 院 内 勉 強 会

院 内		
9月	1日	新入職員研修
	1日	責任者事務当直者勉強会(毎月)
	6日	医局勉強会(毎週)
	22日	認知症対応強化勉強会(毎月)
	26日	第1回パワーアップ研修
10月	2日	新入職員研修
1月	17日	第2回院内感染対策研修会
5月~	eラーニング	事例からひも解く精神科看護に必要な精神保健、精神障害者福祉法の法律知識(全職員対象) 看護補助者と協働するための情報共有とコミュニケーション(看護師・准看護師対象) 新医療人のためのビジネスマナー(事務部対象) 看護師による看護補助者への指示について(看護師・准看護師対象) 知っておきたい看護補助者へ適切な業務指示を行うための留意事項(看護師・准看護師対象) 事例からひも解く服薬 アドヒアランス向上のための精神科看護ケア(全職員対象) 療養生活上の世話にかかわる業務マニュアル(看護補助者対象)
院 外		
10月	16日	政経セミナー研修会(犬飼邦明)
	17日	日本看護協会新人職員研修責任者等研修(梅田亮一)
	18~25日	日本精神科病院協会看護管理者WEB研修(20名)
	19~20日	第75回九州精神神経学会・第68回九州精神医療学会(犬飼邦明)
	21日	創立25周年日本認知症グループホーム全国大会(2名)
	21日	熊本精神保健福祉協会新人研修会(2名)
	25日	令和5年度熊本県アルコール治療拠点病院主催研修会【講演:松永哲夫】
	28日	全国病院広報実務者研修(2名)、令和5年度三師会合同研修会(犬飼邦明)
	29日	アディクションフォーラム研修(松永哲夫)
11月	31日	安全運転管理者講習会(阿蘇品直文)
	5日	全日本断酒連盟阿蘇研修会(松永哲夫)
	8日	短期専門講習 介護労働安定センター熊本支部認知症研修会(3名)
	9日	熊本県介護老人福祉施設理事長会 令和5年度第2回研修会
	18日	日本精神科病院協会 精神科病院における安心、安全な医療を提供するための研修(5名)
	20~22日	日本精神科病院協会通信教育SENIORコース後期スクーリング(3名)
	21日	日本精神科病院協会医療安全管理者養成研修・更新研修会(2名)
	21日	3法人合同パワーアップ研修(11名)
	22日	令和5年度危険物安全協会防災研修会(成瀬享)
	27日	事務長会研修(小田良介)
12月	29日	第153回精神保健指定医研修会(2名)
	29日	上益城老人ホーム合同入所判定委員研修(松永哲夫)
	2日	特別講演会「令和5年度介護報酬改定に向けた動向」研修(犬飼邦明)
	6日	令和5年度女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会(犬飼邦明)
	7・8日	日本精神科病院協会医療安全管理者養成研修会(柴永紘之)
	11・12日	障がい者職業生活相談員資格認定講習会(平山恵美子)
	12日	肥後銀行人事制度特別セミナー研修(犬飼邦明)
	14日	精神障がい者社会復帰支援研修会(5名)
1月	14・15日	九州地区障がい者相談支援事業合同研修会長崎大会(山辺浩史)
	21・22日	日本精神科医学会心理部門学術教育研修会(鳥居麻里)
	10日	日本精神科病院協会医療安全管理者養成研修会(WEB)(柴永紘之)
	18日	熊本県精神科病院協会院長会学術講演会(理事長・院長)
	19日	認知症初期集中支援チーム員フォローアップ研修会(2名)
27日	認知症疾患医療センター全国研修会(大宮理絵)	

職員往来

新しい職場でがんばっています。よろしくお祈りします。

2023年9月1日～2023年11月1日

フリガナ	1 趣味・特技
氏名	2 志望理由
入職年月日	3 ひとこと
所属	
職種	

ランノ アカネ

蘭野 あかね

2023/9/1

地域生活福祉支援部

精神保健福祉士

1 アウトドア(キャンプ)、韓国ドラマ鑑賞

2 Akai花へんろを体調不良で退職する際、「体調回復後はMHPと一緒に働きましょう」とお声掛け頂き、また、障がい福祉に携わりたいとの思いもあり志望しました。

3 これまでは高齢者福祉を主として携わってきたため、障がいのある方との関わりは少なく戸惑うことも多いと思いますが、笑顔で頑張りたいと思います。よろしくお祈りいたします。

カイダ ミワ

甲斐田 美和

2023/10/1

C病棟

看護師

1 最近メルカリで不用品を処分しています。クローゼットの中の服が片付きました。

2 患者様の話を時間をかけて聞いて対応できる精神科に魅力を感じました。

3 これからも頑張ります。

キタハラ エリナ

北原 絵里菜

2023/10/1

C病棟

ケアワーカー

1 キャンプ、犬と遊ぶこと

2 精神疾患や認知症について興味があった事と、以前知人が益城病院で働いており、とても雰囲気の良い職場環境だったと聞き志望致しました。

3 患者様やスタッフの方々のために精一杯頑張っていきたいと思いますので宜しくお願いいたします。

ヨシナガ マリ

吉永 真理

2023/11/1

育児室

事務

1 音楽鑑賞

2 以前働いていた院内保育所が閉所したため就活し益城病院の育児室を受けました。

3 今までの経験を活かし子供たちと楽しく過ごし頑張りたいと思います。よろしくお祈りいたします。



今後とも
よろしくお祈りしま～す!

診療実績

単位：人

区分		9月	10月	11月	12月	1月
外来	外来患者延人数	3,160	3,294	3,219	3,172	2,795
	(うち新規患者人数)	59	58	64	53	38
	平均外来患者人数	126.4	126.7	123.8	132.2	121.5
入院	新入院患者人数	29	49	34	39	37
	退院患者人数	39	41	41	29	42
	在院患者延人数	5,843	5,775	5,836	5,990	6,033
院	平均入院患者人数	194.8	186.3	194.6	193.2	194.6
	平均在院日数(単位:日)	171.9	128.3	155.6	176.2	152.7

実習生受け入れ実績

9月	熊本学園大学精神保健福祉実習(1名)
	九州看護福祉大学看護各論実習(9名)
	甲佐高校2年生インターシップ(1名)
10月	熊本保健科学大学作業療法実習(1名)
	九州看護福祉大学看護各論実習(8名)
11月	崇城大学薬学部1年生早期体験実習(2名)
	九州看護福祉大学看護各論実習(9名)
12月	九州看護福祉大学看護各論実習(9名)

病院等行事

2023年9月～2024年1月

9月	1日	新入職員辞令交付式
	16日	グループホーム「ふるさと」敬老会(家族会)
	30日	障がい者地域移行支援施設「ましき童夢」落成式・内覧会
10月	2日	辞令交付式
	4日	火災避難訓練(夜間想定)
	8日	文化部主催「フォークデュオと野点の夕べ」
	20日	10月職員誕生会
	28日	オータムフェスタ(秋祭り)
11月	1日	辞令交付式
	10日	11月職員誕生会
12月	2日	第13回院内学舎
	8日	クリスマスイルミネーション点灯式
	15日	12月職員誕生会
	21日	グループホーム「ふるさと」外部評価受審
1月	4日	年頭式典
	12日	地域生活支援施設「ましき童夢」及び「地域生活支援部」発足記念植樹
	19日	1月職員誕生会



桜越しに益城病院を望む

編集後記

私には病気による10ヶ月の休職期間があります。臨床心理の感覚は薄れ、復職が遠のいてゆく時期がありました。今思えばリセットタイム。ゆるやかな快復の中で、沢山の人の支えられ役割を頂きリスタートしました。現在、病態やライフイベントに合わせて勤務体制を変えながら仕事を続け、これも多様な働き方の一つだと改めて感じます。

熊本地震やコロナ禍を経て職場もプライベートも変化を重ねる日常です。時に壊れ失ったものの欠片を集め、句を作り、花を待ち、人と語り合うことに新鮮な喜びがあります。

今年も春が巡ってきましたね。

(広報委員：臨床心理士・公認心理師 小松 哉子)



社会医療法人ましき会

益城病院

MASHIKI HOSPITAL

精神科・心療内科・小児科・歯科

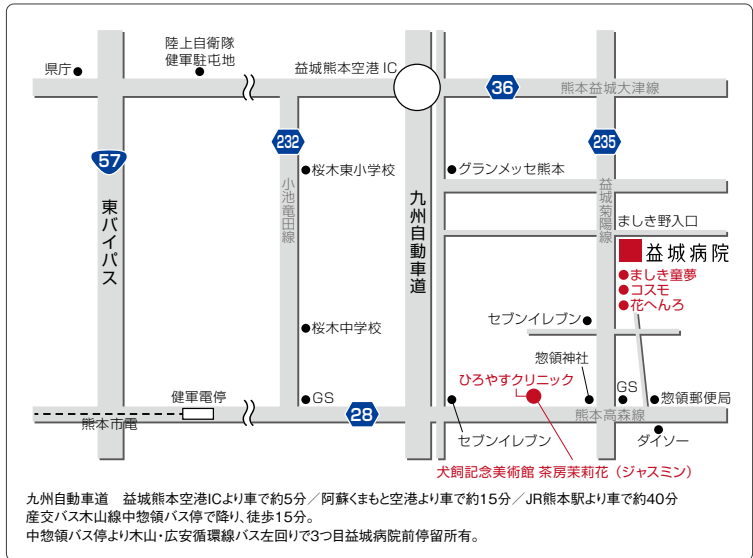
〒861-2232

熊本県上益城郡益城町馬水123

096-286-3611

外来電話受付時間(月曜～金曜)

午前 9:00～12:00 午後 13:30～17:00



付属施設

- 熊本県認知症疾患医療センター
- 高齢者グループホーム「ふるさと」
- 共同住居「iハウス」
- 訪問看護ステーション
- 居宅介護支援センター
- 地域生活支援施設「ましき童夢」
- 指定相談支援事業所「アントニオ」
- 就労継続支援B型事業所「ましきの風」
- パン工房「まりも」、清掃・院庭管理「クリーンサム」
- 洗濯作業「あひるのしっぽ」、軽食・喫茶「風のテラス」
- 宿泊型自立訓練事業所「コスモ」
- 育児室「あんふあん」
- 犬飼記念美術館
- 「こころと心のミュージアム」
- 茶房茉莉花(ジャスミン)

関連施設

- ひろやすクリニック 内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・糖尿病内科
熊本県上益城郡益城町惣領1530
TEL 096-286-3636
- 特別養護老人ホーム 花へんろ
熊本県上益城郡益城町惣領1670
TEL 096-287-8706
- 養護老人ホームAKAI花へんろ
熊本県上益城郡益城町赤井1800
TEL 096-286-2075

表紙タイトル: Well (うえる) “植える”にちなみ地域に根を張り、健やかな生き方をサポートしたいという願いを込めています。

表紙撮影: 阿蘇品 直文 発行: 社会医療法人ましき会 益城病院 広報委員会

写真: 「秋津川河川公園の桜」

発行日: 2024年3月27日

ホームページは
こちらから▶



Facebookは
こちらから▶



Instagramは
こちらから▶



益城病院

検索